

し、会誌の掲載論文数が減ったため掲載料収入は522,160円、また、会誌広告料収入は498,000円減収となった。

(2) 支出のうち事業費については、会誌の掲載論文数が減ったため、会誌発行費は3,495,312円減となったが、委員会活動を活発に行ったため調査活動費も予算額より690,936円増となった。

(3) 収支差額21,308,777円は、平成16年度に繰り越すこととする。

3. 繰越金等を有効に利用する方法を、次回理事会までに、庶務・会計担当理事で話し合うこととした。

能勢隆之監事から平成15年度事業報告について、7月14日に宮武光吉監事と監査を行った結果、適正に管理運営されているとの監査報告が行われた。本件については、審議の結果了承され、評議員会に諮り、総会に報告することとした。

第5号議案 平成17年度事業計画および収支予算(案)について

1. 近藤理事から平成17年度事業計画(案)について資料に基づき、例年の事業のほか、第12回役員選挙を行う旨説明があった。

2. 松田理事から平成17年度収支予算(案)について資料に基づき次のとおり説明があった。

(1) 会員数を8,000人で会費収入を見込んだ

(2) これまで会員管理用のコンピューターを備品として計上し、備品購入のため積立預金してきたが、15年度これまで使ってきたものを破棄したため、今後コンピューターについては備品扱いしないこととし、これまでの備品購入積立預金を取り崩した。第12回役員選挙のため選挙費用積立預金を取り崩すこととした。

以上により、本議案は了承され、評議員会に諮ることとした。

第6号議案 奨励賞について

多田学会長(奨励賞選考委員長)から6月18日開催した奨励賞選考委員会の結果を受け、平成16年度の奨励賞受賞者推薦について報告があった。

多田羅理事長から今年度の奨励賞については、選考委員会の結果を踏まえ、次のとおり表彰したいので、本理事会においてご了承いただきたいとの提案があり、了承された。

1. 藤本真一 保健所における健康危機管理の機能と組織に関する研究

2. 富田直明 脳卒中登録事業を基礎とした脳血管疾患対策の研究

3. 湯浅資之 開発途上国における国際保健政策に関する研究

4. 斉藤恵美子 地域高齢者とその家族の自立した生活を支援するための方策の検討

5. 谷原真一 地域における医療費分析に関する研究

第7号議案 名誉会員について

入山文郎名誉会員担当理事から平成16年度の名誉会員候補者として推薦する方々の紹介がなされ、審議した結果、次の方々を理事会において推薦し、評議員会、総会に諮ることとした。

仲村英一氏 三宅浩次氏 西 三郎氏

第8号議案 その他

1. 中富健康科学振興財団からの研究者顕彰の推薦について

近藤理事から中富健康科学振興財団からの研究者顕彰の推薦について説明があった。候補者については、理事長、庶務担当理事に一任することとした。以上により、本議案は了承された。

2. 名簿作成についての会員からの意見について

本学会ホームページのご意見箱に届いた名簿作成に関する意見について検討した。意見の内容は、①名簿作成についての理事会の見解、②個人情報保護のために学会としてどのような対策を講じたか、③名簿掲載を希望しないものには名簿送らないことは如何なものかである。

理事会としては、名簿作成は本年の事業計画の中に入っており、個人情報保護については会員本人の合意したもののみを名簿に掲載することとしている。名簿の発送については、名簿の管理は会員の連帯責任であり、自分の情報を提供しない会員に連帯責任を期待できるか不明のため名簿は送らないことを確認した。

以上により、本議案は了承された。

3. 保健所長の医師資格要件に関する検討についての見解

多田羅理事長から厚生労働省より「保健所長の医師資格要件に関する見直し方針」が発表されたことは前回の理事会で報告されたが、日本の公衆衛生の将来に関わる重要な要件であり、理事長としての見解を機関誌等で述べたい旨説明があり、

見解案が紹介された。意見のある場合は、その旨連絡することとし、それらの意見を理事長がまとめ、編集委員会と相談のうえ、機関誌に掲載することとした。

報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会

伊達理事から、①英文誌への投稿は16編あった、②ホームページの英文版を作成し会員以外でも英文誌は見られるようにしたい、③表紙のデザインやA4化についても検討したい旨報告があった。

2) 公衆衛生研修委員会

大井田委員長から6月30日開催の委員会で、学会員の資質の向上のため、どのような学会活動を実施すべきか各会員の意見を、ホームページを利用して調査することとし、調査項目について検討した旨報告があった。保健所長の医師資格要件と絡み、保健所における公衆衛生に精通した医師の確保についても触れた方がよいのではないがとの意見がだされ、大井田委員長からそれについてもあわせて調査項目に入れる旨説明があった。

3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長から7月9日開催の委員会について説明があった。(詳細については委員会報告を参照のこと)

4) 感染症対策委員

角野文彦委員長欠席のため新庄文明理事から、5月17日、6月28日開催の委員会について説明があった。(詳細については委員会報告を参照のこと)

また、新庄理事からタイで開催された国際エイズ会議に参加して、エイズ対策の指導者に対するリーダーシップの評価の必要性と、ドラッグ使用者や同性愛者を少数者ととらえず、社会全体の問題としてとらえる必要がある旨話し合われたとの報告があった。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川克子委員長から6月11日開催のワーキンググループを含めた第3回委員会について報告があった。(詳細については委員会報告を参照のこと)

6) IT化検討委員会

中川秀昭委員長から7月2日から6日かけて会員役8400人に名簿作成のための調査表を発送した。その回答のためかホームページに7月15日から19日にかけて1日あたり218件のアクセスがあった旨報告があった。

次回理事会 10月26日10時から 松江市サンラポーむらくもにて開催

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。